

たのしいプリントだ！



たしざんをしましょう。

$1 + 3 =$

$6 + 3 =$

$2 + 3 =$

$7 + 3 =$

$3 + 3 =$

$8 + 3 =$

$4 + 3 =$

$9 + 3 =$

$5 + 3 =$

$4 + 3 =$

3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

たしざんをしましょう

$2 + 3 =$

$3 + 3 =$

$5 + 3 =$

$1 + 3 =$

$7 + 3 =$

$6 + 3 =$

$9 + 3 =$

$4 + 3 =$

$6 + 3 =$

$8 + 3 =$

3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

ぬかに

か  
借りたい



ねこ  
猫に

くぎ  
釘



ねこ て  
猫の手も

ねん い  
念を入れよ



ね みみ  
寝耳に

こ ばん  
小判



ねん  
念には

みず  
水



口コモ 6-4

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

ね みみ  
寝耳に

か  
借りたい



ぬかに

こ ばん  
小判



ねこ  
猫に

みず  
水



ねこ て  
猫の手も

ねん  
念を入れよ



ねん  
念には

くぎ  
釘



せん  
線でむすびましょう。

ぬかに釘

これ、いいものなのかな？



ねこ こばん  
猫に小判

き め  
効き目がないね



ねこ て  
猫の手も  
か  
借りたい

ちゅうい  
よーく注意しよう



ね みみ みず  
寝耳に水

いそが てつだ  
ああ忙しい！だれか手伝って



ねん  
念には  
ねん  
念を入れよ

そんな！びっくりだよ



# 口コモ 6-6

なまえ

せん  
線でむすびましょう。

ねん  
念には  
ねん  
念を入れよ

てごた  
手応えがなく、き  
め  
効き目が  
ないこと。



ぬかに釘  
くぎ

ちゅうい  
注意した上でさらにちゅうい  
せよ。



ねこ  
猫にこばん  
小判

いそが  
とても忙しくてひとで  
た  
人手が足り  
ない。



ねこ  
猫の手も  
か  
借りたい

よき  
予期しないことが起きて  
おどろ  
驚く。



ねみみ  
寝耳にみず  
水

かち  
価値がわからない。



# 口コモ 6 - 7

なまえ \_\_\_\_\_

かけざんをしましょう。

$$4 \times 1 = 4$$

$$4 \times 2 =$$

$$4 \times 3 =$$

$$4 \times 4 =$$

$$4 \times 5 =$$

4      8      12      16      20



かけざんをしましょう。

$$4 \times 5 =$$

$$4 \times 6 =$$

$$4 \times 7 =$$

$$4 \times 8 =$$

$$4 \times 9 =$$

20

44

28

32

36

口コモ 6-9

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

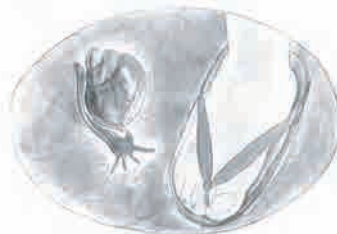
う はな  
卵の花の

て ね  
手をかけて寝る  
かわず  
蛙かな



あおうめ  
青梅に

き  
いつ来たりしよ  
かたつむり  
蝸牛



あしもと  
足元へ

ふき  
こぼるる路の  
ひろ ば  
広葉かな



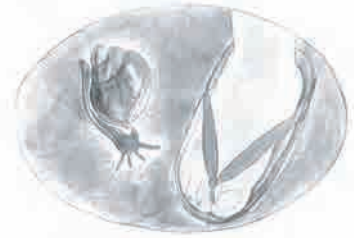
口コモ 6 - 10

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

あおうめ  
青梅に

いつ来<sup>き</sup>たりしよ  
かたつむり  
蝸牛



あしもと  
足元へ

て 手をかけて寝<sup>ね</sup>る  
かわず  
蛙かな

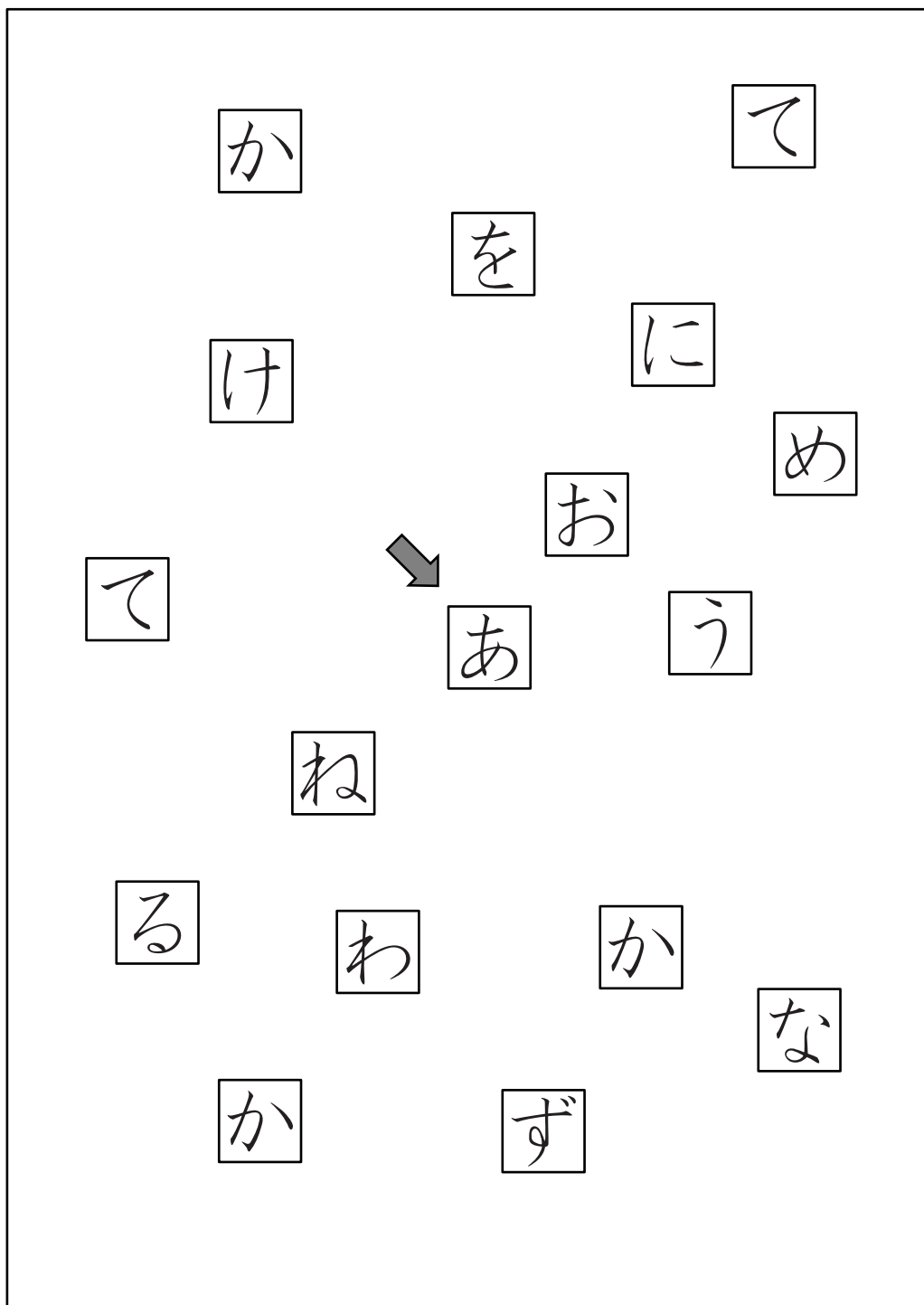


う はな  
卵の花の

こぼるる<sup>ふき</sup>る露の  
ひろ<sup>ば</sup>葉かな

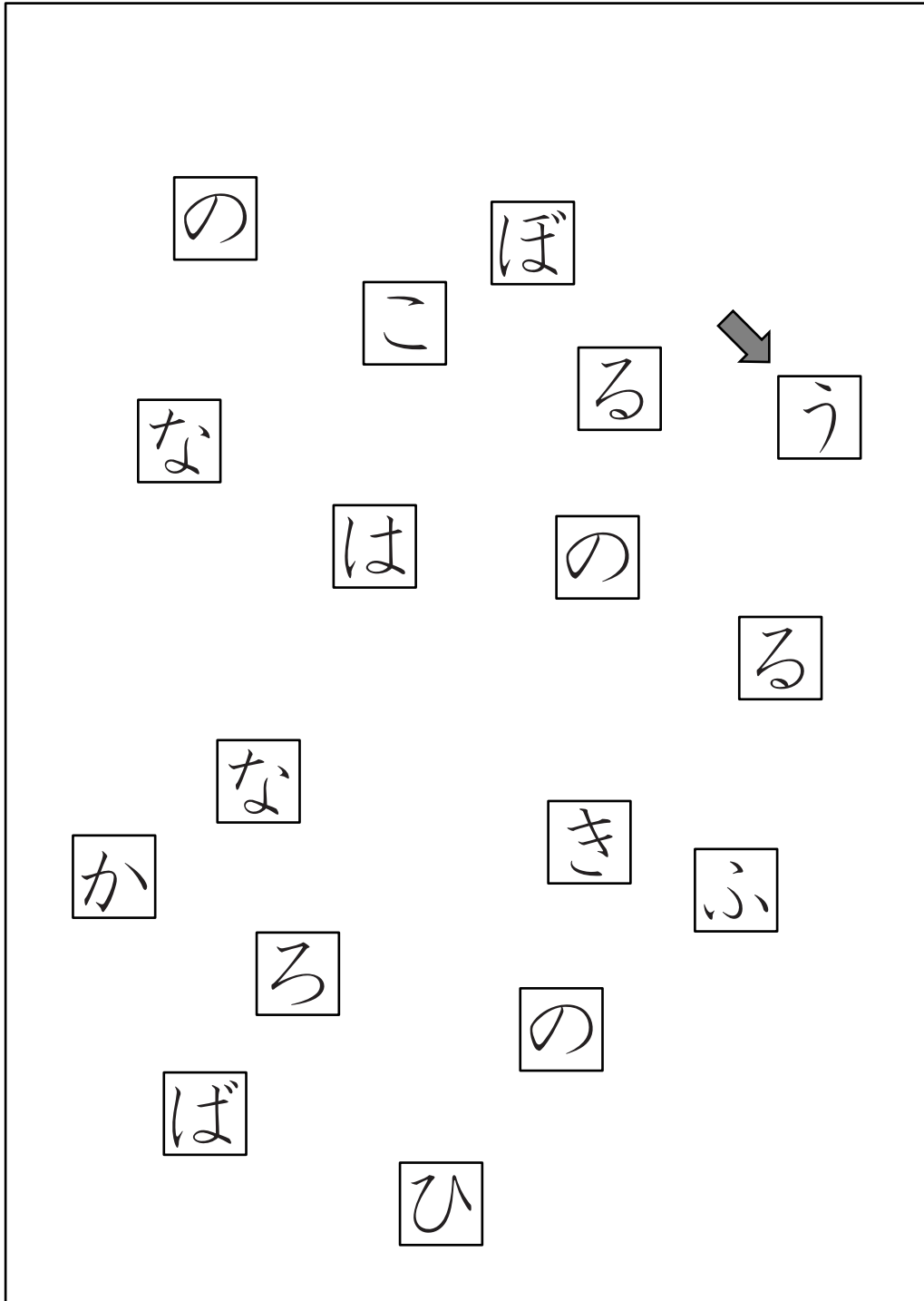


線<sup>せん</sup>でむすびましょう。



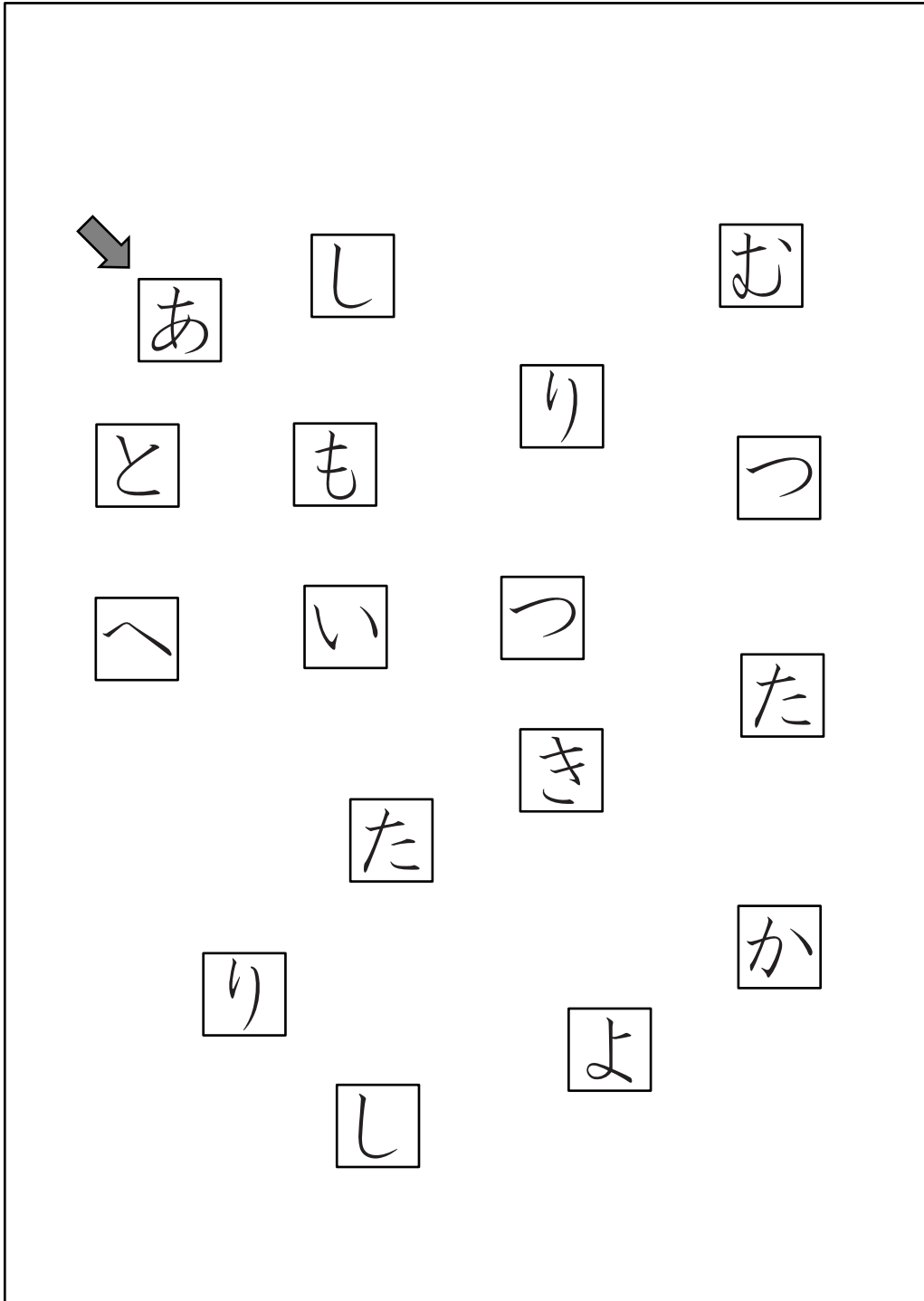
あ  
お  
う  
め  
に  
て  
を  
か  
け  
て  
ね  
る  
・  
・  
・  
・  
・

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。



うのはなの  
.....

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。



あしもとへ……

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

			あ
		て	□
		□	う
		か	□
	か	け	に
	わ	□	
	□	ね	
	か	□	
	な		

小林一茶 こばやし いっさ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

			う
			□
		こ	は
		ぼ	な
		□	
	□	る	□
	ろ	ふ	
	ば	□	
	か	の	
	□		

与謝蕪村

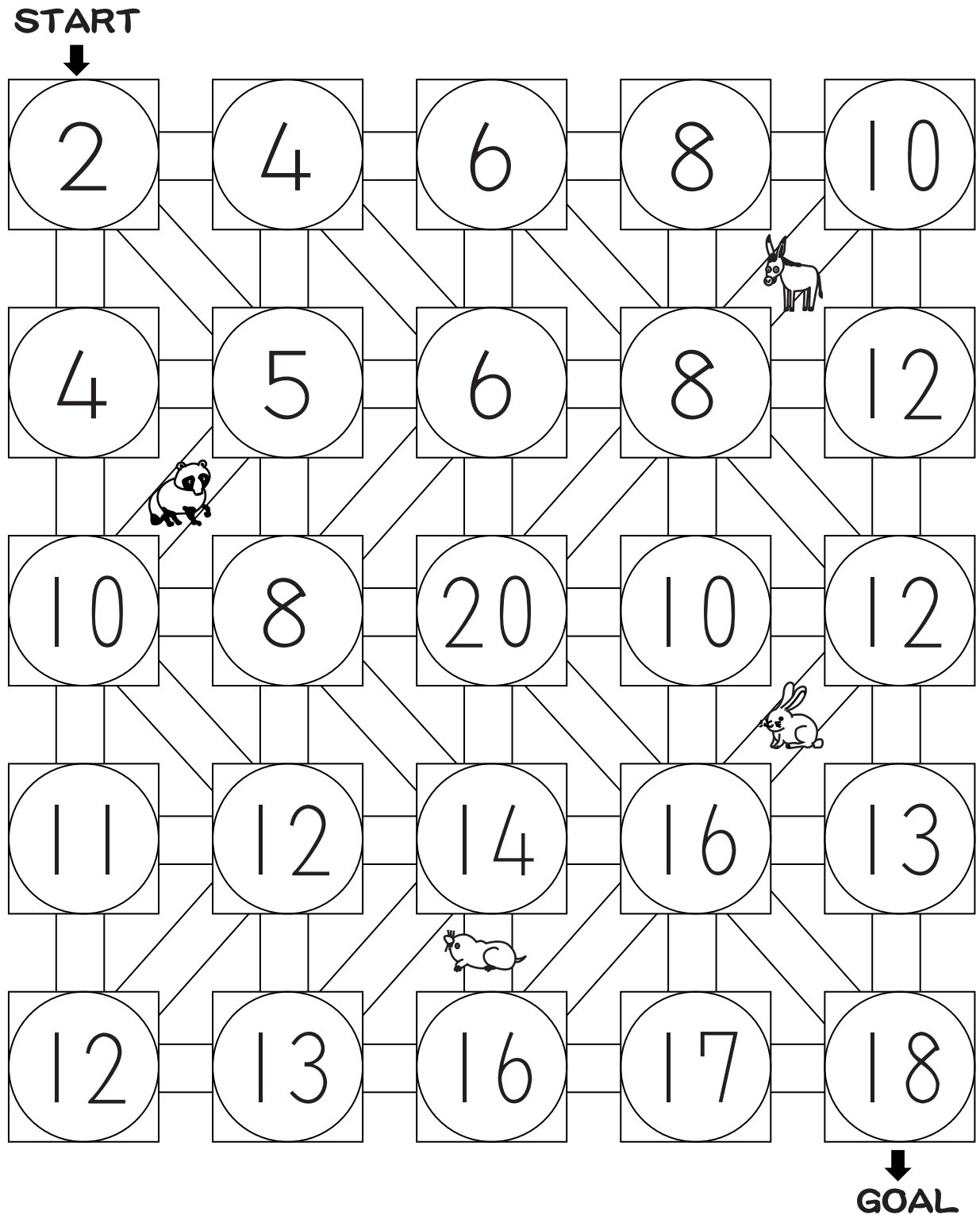


□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

		い	し
		つ	も
		□	□
	□	た	へ
	た	り	
	つ	し	
	□	□	
	り		

小林一茶 こばやし いっさ

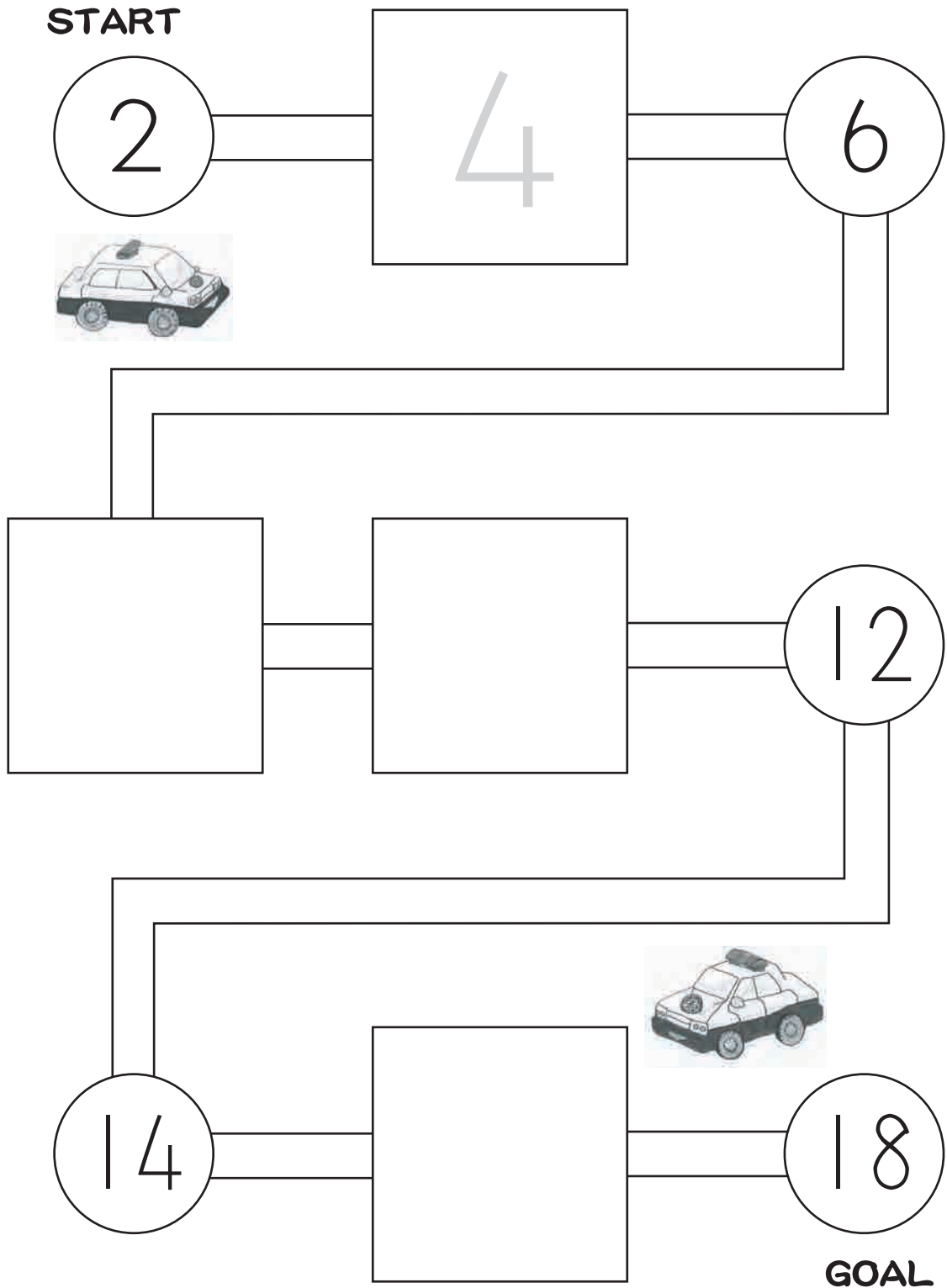
2とびで、GOAL までいきましょう。



# 口口モ 6 - 18

なまえ

あいている□の中なかに2とびで数字すうじをかきましょう。



線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

しり  
尻

ひ  
が引ける



らち

があかない



き  
気

をぬぐう



# 口コモ 6 - 20

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

き ひ  
気が引ける

とりとめがないなあ



しり  
尻をぬぐう

えんりよしたいなあ



らちが  
あかない

ひと しっぱい  
人の失敗のあとしまつ



せん  
線でむすびましょう。

らちがあかない。

ひと ふしまつ しっばい  
人の不始末や失敗の  
あとしまつ  
後始末をする。



き  
気おくれがする。  
えんりよ  
遠慮したい気持ちになる。

しり  
尻をぬぐう



ものごと  
物事がかたづかない。

き ひ  
気が引ける



下から選んで慣用句をつくりましょう。

があかない

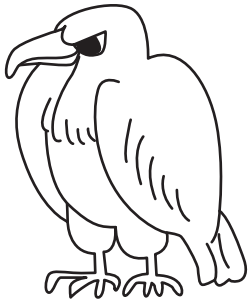
をぬぐう

が引ける

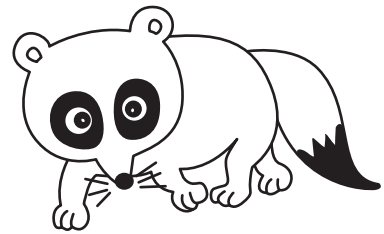
しり らち き

将<sup>しょうぐん</sup>軍は一<sup>いっきゅう</sup>休さんに何<sup>なに</sup>をしばってくれと言<sup>い</sup>いましたか？

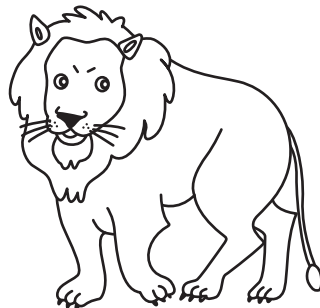
○をつけましょう。



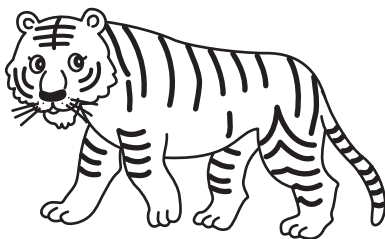
わし



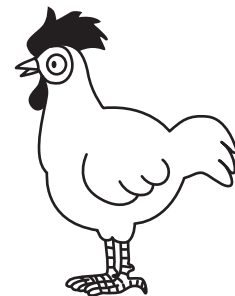
たぬき



ライオン



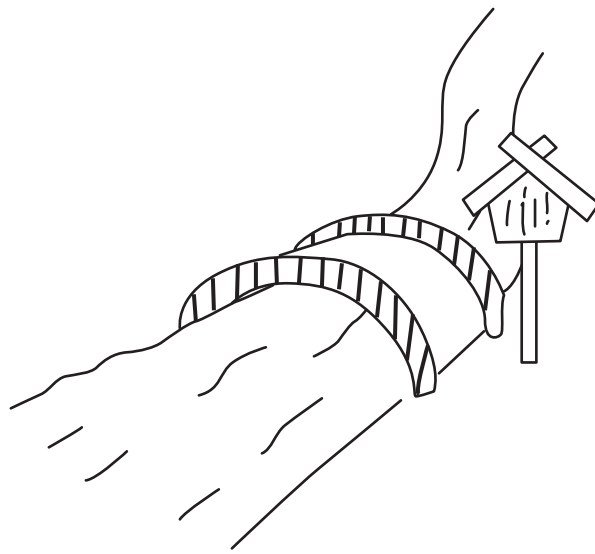
トラ



にわとり



「このはしを渡らないで下さい。」という  
 立て札を見て、一休さんはどうしましたか。



- 1 はしを渡るのをやめた。
- 2 はしのまん中をとおって渡った。
- 3 困っておしろうさんにそうだんした。

口コモ 6 - 25

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

わす  
忘らるる ♠  
身<sup>み</sup>をば思はず 誓<sup>ちか</sup>ひてし

♡  
わが身<sup>み</sup>世<sup>よ</sup>にふる  
ながめせし間<sup>ま</sup>に

あしびきの  
山<sup>やま</sup>鳥<sup>どり</sup>の尾<sup>お</sup>のしだり尾<sup>お</sup>の

♠  
ひと いのち  
人の命<sup>いのち</sup>の  
惜<sup>お</sup>しくもあるかな

はな いろ  
花<sup>はな</sup>の色<sup>いろ</sup>は ♡  
うつりにけりないたづら<sup>ず</sup>に

●  
ながなが よ  
長<sup>なが</sup>々<sup>なが</sup>し夜<sup>よ</sup>を  
ひとりかも寝<sup>ね</sup>む

いにしへの  
な<sup>な</sup>ら<sup>ら</sup>の都<sup>みやこ</sup>の や<sup>や</sup>えざくら  
奈良<sup>な</sup>の都<sup>ら</sup>の 八<sup>や</sup>重<sup>え</sup>桜<sup>ざくら</sup>

●  
きょう このえ  
けふ九<sup>ここのえ</sup>重<sup>え</sup>に  
にほひぬるかな

口コモ 6 - 26

なまえ

せん  
線でむすびましょう。

いにしへの  
奈良の都の八重桜

わが身世にふる  
ながめせし間に

はないろ  
花の色は  
うつりにけりないたづらに

ひといのち  
人の命の  
惜しくもあるかな

わす  
忘らるる  
身をば思はず誓ひてし

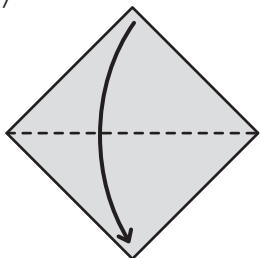
ながながよ  
長々し夜を  
ひとりかも寝む

あしびきの  
山鳥の尾のしだり尾の

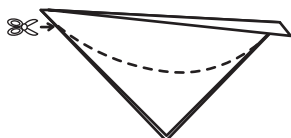
きょうこのえ  
けふ九重に  
にほひぬるかな

《あじさい》

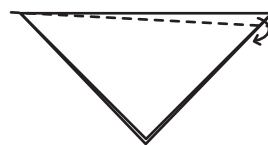
《はっぱ》



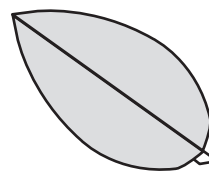
1 さんかくに おる



3 てんせんの ところを  
はさみで きる

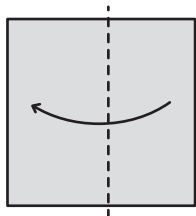


2 うえの ぶぶんを すこし  
だけ ななめに おる

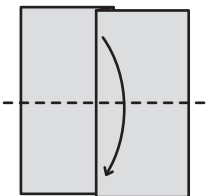


4 ひろげると はっぱのできあがり

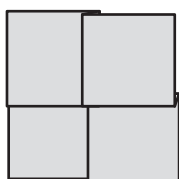
《はな》



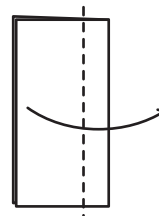
1 はんぶん に おる



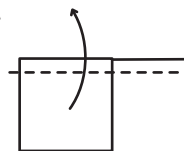
3 はんぶん に たにおりする



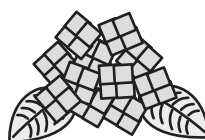
5 はなの かんせい



2 まんなかの ぶぶんを すこし  
のこして うえの 1まいだけ おり  
ひらく



4 まんなかの ぶぶんを すこし  
のこして、 うえの 1まいを  
おりひらく



たくさんつくって  
はっぱと いっしょ  
に かみにはりつけ  
ましょう